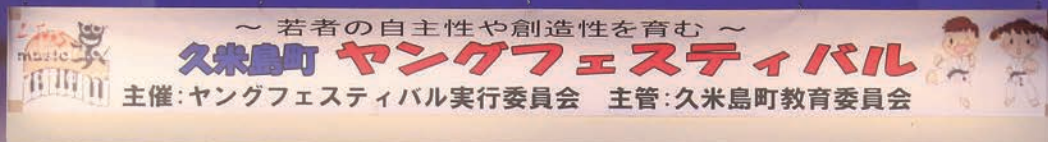


くめじま

議会だより

2017.3.1

No.59



議会の傍聴へ行こう

次回定例会は
3月8日(水)開会予定

3月8日(水)は、町長の施政方針、議案審議を行い
一般質問は、3月9日(木)、10日(金)に予定しています。

前回の傍聴者人数 8名でした。多くの方の傍聴をお待ちしております。

ヤングフェスティバルの琉球民謡
(中島美幸三線箏曲教室)

日時：平成 29 年 1 月 22 日 (日)
場所：具志川農村環境改善センター

久米島の人口・世帯数 (2016年12月末現在)

男：4,287人	世帯数：3,976世帯
女：3,814人	
計：8,101人	

12月定例会

視察研修報告	2~3
12月定例会で決まったこと	4
臨時会で決まったこと	5
町政を問う 一般質問	6~14
意見書・決議書	15
議会のうごき・編集後記	16

『地産地消・地域資源を活かした地域おこし』 そして『移住定住の推進』を学ぶもの

私達は、3日間の日程で徳島県上勝町、神山町を視察した。上勝町の「地産地消・地域資源を活かした地域おこし」や神山町の「移住定住の推進」について学んだ。



上勝町の葉っぱビジネス説明をしたおばあちゃんと集合写真

上勝町

上勝町は徳島市内から車で1時間ほどの山間部に大小55の集落が点在している地域である。人口は1600名余で高齢化率は

51.89%、四国で最も人口が少なく、徳島県で最も高齢化率が高い地域、山林に囲まれた町で、主要産業がみかん栽培や林業が生産業であったが寒波により瀕死の大打撃を受け、限界集落寸前まで落ちいったが、町民でもない一農協職員の転職、奮闘により山里を活用したユニークな地域活性型農工商連携を実現した「葉っぱビジネス」を起動にのせ30年以上の実績をのこし、国内外から多くの視察、研修客が訪れ、町内に活気があふれ、高齢者や女性に仕事生まれ、全国一の普及率の光ファイバーを活用し高齢者がパソコンやタブレットを使うことで脳が活性化、体を動かすことで健康になり、町の魅力に惚れ込んでターナー、Uターンで移住する若者も多く、高齢者にもできる「葉っぱ」ビジネス

「ス」で高齢者や女性たちの仕事の場が増えたため、生き生き暮らし健康的で病院へ行く人が少なくなり医療費も軽減され、老人ホーム利用者が減り、生活保護世帯も少なくなった。事業を軌道に乗せることよって、次の政策のステップとなり、ごみを資源にするゼロ・ウェイスト政策をも展開し2020年までに上勝町のごみをゼロにする対策と取り組みを行っている。更には、過疎化が進む町に「後継者をと、インターンシップ事業」で、次の担い手を育てるつなぐ取り組みもやはり、町の大きな魅力だと思う。人が集い、人が活躍する町をつくることこそ、これから求められる姿だと強く感じた。

【まとめ】本町においては海洋深層水を活用し、出荷時期を調整することにより高価格での販売が可能な宮農、車海老の深層水での完全養殖。久米島は菓草の宝庫であるので、島に自生する菓草や甘しよを使って産業おこしができ、

地域全体での産地づくり商品づくり、つまりブランド化を目指した取り組みをすることである。離島のハンディをチャンスに活かして出来るもの。必要な情報を共有化する事で、商品の需要を知ることができるので、「彩ネットワークシステム」のようなネットシステムを構築し、「ゆんたく市場」などを核に消費者のニーズや生産者などの情報をタイムリーで確認し販路を拡大でき、年寄りの出番や役割があることを知り、居場所作りや生きがいを与えることが出来る。インターシップ等を活用し、若者を呼び込み、様々な経験をさせ、判断させて起業を促す事も地域資源を生かした、地域おこしになる。官民一体でのプロジェクトチームを立ち上げ多角的方面からの調査・研究・久米島本来の魅力を発信し、民泊事業などや漁協と行政・漁民が共同することによって観光用漁礁を設置して海洋資源を利用した観光漁業の推進、冬場におけるホエールウォッチング等の資源も必要である。農業に関し

て、農協と行政、農家と事業者等の共同による基幹作物のサトウキビを活用した事業展開など、島の資源、取り組み、人の強みを改めて見つめ、「島でできない、やれるはずがない」という既成観念はとっぴらい「2番でなく1番」と島の魅力や、島の課題に気づいている人を行政が最大限支援し、協力して魅力をつくりそれぞれの優れたチームリーダーを中心に展開すれば本町にも反映して出来る。



J Aとくしま上勝支所集荷場にて

神山町

神山町は人口5300人、高齢化率47%で、人口の急速な減少方向にあり、今後20年ほどで自治体

としての維持が難しくなる見通しが総合戦略策定の検討作業を通じて浮き彫りとなった。神山町の地域創生総合戦略による「まちを将来世代につなぐプロジェクト」一般社団法人「神山つなぐ公社」と役場内に設置する隔週ペースの課長級会議「神山つなぐ会議」の二つをもつけ推進している。その内、コアチーム8名、ワーキングチーム28名の活動によって商店街再生、サテライトオフィス（一丁、映像、デザインなど働く場所を選ばない企業を誘致）・ワーキングレジデンス（町の将来にとって必要な働き手企業者の誘致）・神山塾（厚生労働省の基金訓練・求職者支援訓練による後見者人材の育成）を実施し、働き手や起業者を誘致することでバランスのとれた「とにかく、如何に外から人を呼びこむか。」という。視点で、「外の魅力」から若者やクリエイティブ人材を誘致したくさん来てもらう。人材育成事業による神山塾で、この事業を2010年12月から開始し現在まで6期77名が終了、結

果、移住50%、雇用10名、カッブル誕生10組の成果をあげている。また、13社がサテライトオフィスを設置し「仕事は都会のオフィス街で」という固定観念を覆し、環境さえ整えさえすれば地方でも山の中でも働くことができることから、移住者や地域の雇用をつくるということを行い、オフィス環境を整えたいという都会のニーズと過疎化の問題を解決したいという地方のニーズに応える取り組みになっている。

【まとめ】本町においても去年から、国の地方創生の地域おこし協力隊より職員を3名配置し移住、定住の促進にあたらせているが、住居の確保、職の確保に難問がある、よって定住できる住居の確保や各企業で職業訓練ができるようコミュニケーションがとれるよう地元出身の核となる人材を行政職から出向させ、本町においても光ファイバーやWiFiなどの整備率も高い為、公共施設や民家の空き家を利用して一丁企業等の誘

致は可能と思う。

地域にとつて最も重要な資源は「人」である。良質な資源があっても、それを価値化する人がいない限り、どのような可能性も形も共有されない。人がなにより重要であり、その「人」と「人」の組み合わせから、これからの地域をつくる活動が生み出されていく。

久米島町も空き家対策、移住定住を推進していると思うが、神山町の「神山つなぐ公社」、「神山つなぐ会議」、官民両輪の共同体制による、連続的で、拡張性があり、継続性の高いプロジェクトを進めることで、効果的な課程がつかられ、より良い成果が生まれてくる。



神山町にて説明会を受けた

12月定例会 決まったこと

平成28年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（5号）
84億7391万円（1億0650万円増）
- 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
15億2423万円（31万円増）
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
7407万円（28万円増）
- 水道事業特別会計補正予算（第2号）

条例の改正 ※全員賛成

- 町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院及び沖縄県人事委員会の給与勧告等を考慮し改定
- 町税条例の一部を改正する条例
地方税法施行令及び地方自治法施行規則の一部改正による条例改正
- 町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
地方税法施行令及び地方自治法施行規則の一部改正による条例改正

平成28年12月（第10回）定例会は、12月15日から16日までの2日間の日程で行われました。定例会では、議案8件、承認1件を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。15日の一般質問では10人が登壇し、活発な審議が行われました。

契約 ※全員賛成

- 町火葬場・葬祭場新築（火葬炉設備）工事の請負契約について
 - ◎ 契約の方法 指名競争入札
 - ◎ 契約の金額 1億2409万円
 - ◎ 契約の相手 株式会社 開邦工業

承認 ※全員賛成

- 久米島町屋内運動場災害復旧工事請負契約

議員提出 ※全員賛成

- 米海兵隊垂直離着陸機MV-22オスプレイ墜落事故に対する意見書、抗議決議書
（全文を15ページに掲載）

議会の傍聴へ行こう

次回定例会は
3月8日(水)開会予定

傍聴は議会の活動や町制の動きを知るチャンスです。本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われます。また、一般質問では、町長の考えを聞くことができます。今、まちづくりがどのように行われているのか、町民、議会、役場（執行部）みんなで情報を共有し、協力してより良いまちづくりを進めていくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

**3月8日(水)は、町長の施政方針、議案審議を行い
一般質問は、3月9日(木)、10日(金)に予定しています。**

仲里庁舎1階にて
一般質問の様子を
テレビモニターで
ご覧いただけます。

前回の傍聴者人数 8名でした。多くの方の傍聴をお待ちしております。

第 8 回 臨 時 会 で 決 ま っ た こ と

平成 28 年 11 月（第 8 回）臨時会は、11 月 4 日に行われました。臨時会では、議案 1 件を審議し、原案どおり可決しました。

平成 28 年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（3 号）
83 億 0405 万円（6447 万円増）

第 9 回 臨 時 会 で 決 ま っ た こ と

平成 28 年 11 月（第 9 回）臨時会は、11 月 14 日に行われました。臨時会では、議案 2 件を審議し、原案どおり可決しました。

平成 28 年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（4 号）
83 億 6741 万円（6336 万円増）

契約 ※全員賛成

- ふれあい公園遊具設置工事請負契約
 - ◎契約の方法 指名競争入札
 - ◎契約の金額 6480 万円
 - ◎契約の相手 株式会社 宮城組

第 11 回 臨 時 会 で 決 ま っ た こ と

平成 28 年 12 月（第 11 回）臨時会は、12 月 22 日に行われました。臨時会では、議案 2 件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

平成 28 年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（6 号）
84 億 7589 万円（197 万円増）

契約 ※全員賛成

- 比嘉公民館建築工事請負契約
 - ◎契約の方法 指名競争入札
 - ◎契約の金額 1 億 2727 万円
 - ◎契約の相手 株式会社 丸吉組



（吉永浩）

いよいよ新年度が始まります。議会は住民の立場に立って実質的な審議を尽くすことが使命であり、議会だよりは議会と住民を繋ぐ大切な架け橋だと思います。議会活性化委員会も発足し議会改革に全員で取り組むことを決意し、住民全体の代表として新たな年度を駆け抜けます。もっと身近な議会を目指して。

編集後記

質問と答弁の内容を要約して掲載しています。
※ここでは年号（平成）を省略しております。



玉城 安雄 議員

問 子育てしやすい島
を目指せ

答 支援体制を強化

玉城 子供が病気の時の保育については過去の議会で何度か取り上げた。公立病院が前向きに検討するとの話もあったが現在の状況は。

町長 公立病院とは調整がつかず断念したが、民間診療所と社団法人の協力で29年度中実施に向け準備中である。

玉城 子供が保育園で急に発熱し途中で降園しなければならぬ時に対応可能か。

福祉課長 親が迎え医療機関で診察を受けてから預ける形になると思う。

玉城 施政方針で認可保育所の支援強化により待機児童0をめざすとしているが、現在0〜1歳児の待機児童が多いと聞くその対応は。

町長 なでしこ第2保育園運営法人が変わる予定である。その際定員を100名から120名に増員しその中で対応する。

玉城 特に0歳児の待機児童は深刻である対応策は。

福祉課長 家庭的保育事業とこの0歳児も対象になるので事業所が出てくれば協力していく。



翁長 学 議員

問 台風被害の支援は

答 支援と復旧を進める

翁長 28年10月久米島を通過した台風18号により甚大な被害を及ぼした、町として被害者に対する支援と公共施設等の復旧計画は。

町長 公共施設の被害額は8千900万円を超え、各種保険や被害復旧事業を活用し、現在復旧を行っている。

翁長 被害に遭われた町民に對しての支援は。

町長 住宅への被害者には、

被害救助法の適用を受けることができず、町に寄せられた義援金の中から町として独自に生活困窮者等非課税世帯を中心に見舞金を支給する。

翁長 停電が長時間起こり、クルマエビが被害を受けた。住民の生活に影響がでた。電線の地中化を考えるべきではないか。

町長 県議会那覇市、南部離島選挙区選出議員との意見交換会の中で電線の地中化を重点事項として要望した。





赤嶺 秀徳 議員

問 儀間漁港の整備促進は

答 今年度で調整する



儀間漁港

赤嶺 儀間漁港内の防犯灯の設置、法面の補修、巻揚げ機械室出入口扉の改修の3点について事業計画について伺

う。

町長 業者と協議中であり積算が決定次第今年度で整備する。

問 下水道敷設の進捗は

答 34年度着手予定

赤嶺 嘉儀山地区の下水道敷設の事業計画は、どのように進捗しているか伺う。

町長 町下水道事業は、国庫補助で行ない、嘉儀山地区下水道はイーフ処理施設へ接続予定である。28年度までには銭田の本管支線配管を実施し、33年度までに山城までの敷設を完了する計画である。儀間、嘉手苅地区は、32年度実施設計、34年度から工事着手計画である。



仲村 昌慧 議員

問 船運賃の離島割引制度の改善を

答 改善に向け県及び事業者と協議する

仲村 船運賃の離島割引制度の改善要望として、往復割引の有効期限の短さや片道のみ利用ができない点が不便といった声が挙げられている。往復割引の有効期限の延長と片道運賃割引の導入ができないか伺う。

町長 船の片道運賃の適用については、県及び事業者と何度か協議を行っている。本事業は離島住民が安心して暮らせるような交通負担の軽減することと定住条件の整備を図り、離島の活性化を図ることを目的としている。新たな運賃制度導入により事業者の経営に影響があるものと想定されることから課題解決には慎重に検討する必要がある。引き続き、県及び事業者と協議を重ねながら片道運賃の新設に向けて取り組んでいく。



ニューくめしま

問 集落の統廃合を検討する

答 地域の要望を聞き検討する

仲村 本町の公共施設等総合管理計画によると、公民館・コミュニティセンター等は、約6割以上が更新検討施設であるとして、小規模集落等については、人口動態を踏まえ公民館の統廃合を検討している。人口減少により準限界集落が多くなっており、集落の統廃合を早期に検討すべきだと思いが、町長の見解を伺う。

問 集落の統廃合を検討する

答 地域の要望を聞き検討する

仲村 本町の公共施設等総合管理計画によると、公民館・コミュニティセンター等は、約6割以上が更新検討施設であるとして、小規模集落等については、人口動態を踏まえ公民館の統廃合を検討している。人口減少により準限界集落が多くなっており、集落の統廃合を早期に検討すべきだと思いが、町長の見解を伺う。

町長 少子高齢化による人口減少で、集落内外の清掃などの自治会活動が困難になりつつある集落がある。また町内各字公民館の中には老朽化が進み、近い将来更新が必要な施設が多数あることも踏まえ、自治会の統廃合を含めた行政区の見直しについては、地域の要望を聞きながら積極的に検討する。

仲村 財政シミュレーションによる2045年には町の財政が破綻する結果になると報告されている。真剣に取り組んでいただきたい。

総務課長 自治会の統廃合については区長会、住民の意見を聞きながら進めていく。公民館については老朽化が進んだ施設については地区の公民館として近隣の集落が共通で使えるような公民館として整備していく方法で検討していきたい。



喜久里 猛 議員

問 防火水槽表示の移動を

答 関係課と調整を図る

喜久里 アイランド横の防火水槽表示の位置を変更及び蓋の修理は。

町長 標識は消防水利の基準で設置されており、蓋の取手部分が一部破損し、番線で処置対応している。今後、劣化している他の標識等と併せて取替修理を行い適切な維持管理に努める。

喜久里 標識は左、防火水槽は右で勘違いする位置にあるので、防火水槽から5m以内は駐車禁止と強くつたってほしい。これは予算をとってでも直すべきだと思うが。

消防長 標識の移動については、工事をするとなると、関係課と予算等も含めて調整していく。



防火水槽表示

問 災害認定の内容は

答 土地改良と連携をとる

喜久里 災害認定は、法面、排水路等の申請期限外、申請期限を過ぎた災害地はどう処理するか。

町長 兼城地区の排水路及び法面崩壊については、現場確認をし中山間地域等直接支払事業で修繕できないか具志川土地改良区と調整中。

喜久里 土地改良と調整は出来たか、災害認定は30万以上か。

建設課長 県の中山間事業で側溝の浚渫、農道の維持管理まで出来るので、実施できるか県へ問い合わせ中。

喜久里 災害申請期限が過ぎても、過年度災害で出来ないか。

建設課長 県の過年度災害では、非常に厳しいですが、側

溝の復旧を考えている。

問 町有地の無断使用は

答 貸地契約手続きを行うよう指示

喜久里 農地以外に、町有地の無断使用はないか。

町長 無断使用を確認した場合は、速やかに使用者に通知し、適切な使用手続きを取るよう指導している。

喜久里 本当に把握していないのか。

副町長 情報が入りましたので、町有地担当に確認したところ、無断使用があった。すぐに本人に会って貸地契約をするように伝えている。

問 兼城港内製水所の排水について

他にもこんな質問



吉永 浩 議員

問 統廃合後の評価を

答 保護者からの声を聴く

吉永 幼稚園統廃合評価委員会が必要と考えるが。

教育長 統廃合後、6月と10月に2園に状況調査をしており、現状は把握しているため、必要はない。

吉永 改善点などはないか。

教育課長 課題に手洗い場があるが、仮設の手洗い場を設置予定。

吉永 統廃合後、保護者から不安の声が聞こえる。保護者からの声も拾うべきでは。

教育長 3月にも状況調査を行う予定であり、学校だけでなく保護者にも調査を実施したい。

吉永 次の世代の園児、保護者のためにも強く要望する。

問 新制度の早急な体制整備を

答 臨任など財政含め判断

吉永 現在の待機児童数とこれまで年度途中での待機児童発生数は。

町長 0歳児は10名、1歳児は2名。過年度においても同数の待機児童が発生している。

吉永 放課後児童クラブ、ファミリーサポートセンター、認定こども園など、子ども・子育て支援新制度の早急な体制整備が解決のカギである。一時的・集中的な行政内部の体制強化が必要と考えるが。

福祉課長 現在の福祉課体制では新制度の体制整備に向けた取組が不十分。

総務課長 必要な人員確保には努めているが、職員が足りない。

吉永 過去に何度も子育てに関する質問があった。同規模町村では職員増の動きもあるなか、今後も職員が足りない

という答弁を繰り返すのか。

町長 新体制整備のため、人員が必要な個所には臨任を充てるなど、財政も含め判断していきたい。

吉永 決断力を期待する。

問 防災無線の整備を

答 防災無線のデジタル化などで対応

吉永 18の字から聞こえないという声があるが。

総務課長 来年以降、防災ラジオやICT活用の検証、防災無線のデジタル化を進め、防災無線が聞こえない地域に対応していく。

吉永 具体的スケジュールは。

総務課長 2、3年かけ、防災減災の事業債の活用など検討していく。



鳥島通学路



盛本 實 議員

問 通学路の整備を

答 積極的に県へ要請をする

盛本 県道久米島空港真泊線の一部（新生橋～清水小学校）、宇根仲泊線の一部（具志川庁舎前～鳥島漁港入口）において歩道が未整備の為、久米島西中学校及び清水小学校の子供たちは危険な状況での通学を強いられており早急な対策を。

町長 県は同地域の整備計画はないとの事であるが、通学路としての本路線は非常に危険な状況にあると認識しており、整備について強く要望していく。

盛本 現地調査はしたのか。交通安全対策は。

教育長 それぞれの学校について通学路調査は行った。交通安全対策については学校側と連携をとり、交通安全ルールの順守について指導を行っている。

問 兼城港ターミナル棟の整備を

答 30年度に工事着手

盛本 兼城港湾ターミナル棟の整備スケジュールについて伺う。

町長 県としては28年度に概略設計、29年度に実施設計、30年度に工事着手のスケジュールを進めている。

盛本 ターミナルビルのデザインについて地元の意見を取り入れてはどうか。特に若者達の意見を。

建設課長 町としても同様な考えであり、その事については県に進言していきたい。

問 船揚げ場の早期整備を

答 今後とも継続要請していく

盛本 兼城港湾内小港地区の

船揚げ場は利用漁船の大型化により狭隘な状況にある。防災、船舶管理及び漁業振興の観点より同船揚げ場の拡張が必要と思われるがその対策について。

町長 これまで何度も整備要望してきたが、県としては現在整備中の兼城地区、花咲地区の整備状況を踏まえて新規事業として取り組んで行きたいとの事である。しかしながら現状を鑑みると早期整備が必要な事から今後とも継続要望をしていく。



船揚場

問 避難道路の進捗状況は

答 継続事業として
整備を計画している



喜久村 等 議員

喜久村 計画は何年度の計画なのか。

喜久村 真泊の避難道路について、現在避難道路の工事は、停止状態にあるが、今後の工事の進捗状況について伺う。
町長 スナミ避難道路は、27年度に完成し、同事業の継続事業として避難道の照明設備、一時待機場所としての、広場並びに取付け道路の整備を計画している。



スナミ避難道路

答 道路整備が可能か
県と協議する

問 観光道路に道幅の
拡張を

管理については地元の住民と協議していく。次の工事の計画も含めて地域住民にもきちんと理解をしていただくために説明会を早めに行っていく。

建設課長 29年度に防犯灯設置及び取付け道路の実施設計及び設置工事、30年に取付け道路と避難場所の整備工事を計画している。
喜久村 今後の維持管理と工事の前説明会はどのように行うか。
総務課長 今後、

喜久村 展望台から宇江城城跡までの道（比屋定18号線）の道幅を拡張し、大型バスが通れるようにできないか。
町長 比屋定18号線の拡張は、久米島県立自然公園で第一種特別地域指定されているので、開発工事が規制されているが「工作物車道は、公益性があれば許可できる」となっているため、道路整備が可能かどうか県と協議していく。



宇江城城跡までの道



平良 弘光 議員

問 補助事業の相違は

答 今後太陽の花と事務調整

平良 27年度災害に強い栽培施設の整備事業で事業主体がJA沖縄の補助施設には本町からの補助が入っているが、事業主体が太陽の花の補助施設には本町の補助が入っていないがその経緯は。

町長 27年度8月にJAより事業に対しての町の上乗せ分の補助金の要請があり、町として5%の補助金をすることを決定しました。その後太陽の花の担当者へ確認したが既に事業が進行しており事務的に間に合わない旨の報告があり、平張り施設への町上乗せ分の補助金は交付していません。

問 防風林の実態調査は関係機関と整備し、積極的に

平良 本町の取り組みだけでは予算的に厳しいところがある

るが防風林のかたちとしては、国、県等が管理をする幹線防風林、つまり幅の広い防風林の帯があり、それを拠点として農家が管理をする支線防風林がある。

町長 私が感心するのは南大東、補助整備の一貫として防風林を整備しています。本町においてはその面が足りなかったかなという想いである。今後の事業において取り組みを検討したい。

問 農家へ土壌改良剤の支援は

答 新年度予算で300万計上

平良 甘藷加工所も操業が始まり、農家の関心も高まっている。そこで土壌改良剤（灰カル、石グー）の購入に対して支援はできないか。

産業振興課長 現在、新年度

の予算の範囲内で希望する農家助成できるように業者、JAと単価の調整を進めている。

新年度の予算で300万予算を計上しており、ヒアリングも終わり後は査定の結果待ちとなっている。

問 中央保育所の運営計画は

答 民間移行はない

平良 中央保育所の民間への移行はあるのか。

町長 私の任期中は民間への移行は考えていない。





棚原 哲也 議員

問 庁舎のバリアフリー化を

答 早期に設置、実施に向けて計画したい

棚原 来庁頻度の高い課の窓

□の車椅子対応や着席対応ができるように改善、2階会議室及び議場等へ障がい者及び高齢者の方々が来れるよう昇降機等の設置、バリアフリー化へ改善する考えはないか。

町長 着席型カウンター設置は早期に設置できるようにする。

棚原 エレベーター設置が無理であれば簡易的な昇降機は。

総務課長 エレベーター設置は町民からも要望もあり、昇降機を含め業者の見積もりをとって調査を進めようとしている。

問 子どもの遊び場及び住民が集える場を

答 事業メニューを探し、整備等を

棚原 子どもの在籍数でみた

場合平等な公園や広場等の整備が進んでいないと思うが。

企画財政課長 ふれあい公園に遊具を設置する。

棚原 帰宅後の児童は道路や自宅で遊んでおり、集える場の整備がされないと交通事故の危険性も増え、外で遊べないと自宅にこもりゲーム等しかできず健康面での影響も出てくる。銭田公園は子どもたちが散歩で行き来が不可能だと思う。各小学校区内に遊具がなくとも散歩圏内に子どもが走り回れる場、高齢者等のウォーキングが集える場があれば大人の目も届き、子どもたちがのびのびと遊べ理想的でないかと思う。

町長 比嘉改善センター跡地に新たなメニューを探し整備を進めたい。

問 無電柱化の促進を

答 継続して要請していきたい

棚原 県道イーフ線及び新興通りの無電柱化の促進を、無電柱化促進法案が成立すれば推進計画を定めることになっている。再度要請していく考えがあるか。

町長 継続して要請したい。

他にもこんな質問

問 奥武島西部海域及びイーフビーチ海域海流調査について

米海兵隊垂直離着陸輸送機 MV-22オスプレイ 墜落事故に対する意見書、抗議決議書 強く要求する！！（意見書、議決書要約）

平成28年12月13日午後9時30分頃、沖縄本島東海岸から約80メートル離れた名護市安部沖の浅瀬に、米軍普天間基地所属の海兵隊垂直離着陸輸送機 MV-22オスプレイが訓練中に墜落し、大破するという重大事故が発生した。

日米両政府は、県民の強い反対にもかかわらず普天間基地に同型機を24機も強行配備し、これまで県民に爆音被害と墜落の不安を与えてきたが、その不安が現実のものとなった。さらに、報道によると同時に給油訓練を行っていた別のオスプレイについても、同日午後11時30分頃に普天間基地へ帰還した際、機体の不具合によると思われる胴体着陸が確認され、2機のオスプレイが同日に重大な事故を起こしていたことが判明した。

オスプレイについては、かねてから欠陥機として危険性が指摘され、沖縄県民が配備の反対を強く訴えてきたにも関わらず、墜落事故が現実に関内県で起こったことに対し、県民は激しい怒りを覚えるとともに強い衝撃を受けている。

今回の墜落事故に関し、ワーレンス・ニコルソン四軍調整官は、民間地域を避け海上に不時着させたとして、パイロットの対応は「被害を与えず感謝されるべき」と発言している。余りにも県民との考え方に大きな開きがあり、米軍の占領意識丸出しの姿勢と言わざるを得ない。

さらに、今回も米軍及び沖縄県警で事故現場を規制し、日米地位協定第17条により、調査すべき日本の機関が近寄れない事態を惹起した。また、このような安全確保が出来ない状況下で、米軍が垂直離着陸輸送機 MV-22オスプレイの吊り下げ訓練を地域住民の強い反対にもかかわらず強行する傍若無人な行為は、まさに県民の生命と財産を軽視するものであり断じて許されるものではない。

よって、本町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議する。

意見書提出先

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、特命全権大使（沖縄担当）、沖縄防衛局長

抗議決議書提出先

駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国防領事
在沖海兵隊基地司令官

■平成28年11月

- 1日・第42回沖縄県畜産共進会出発式に議長出席
 - ・さとうきび政策確立沖縄県農業代表者大会に議長出席
- 4日●第8回臨時会
- 5日・県議会視察・意見交換会・懇親会に議長出席
- 7日・南部地区市町村議会議長会に議長出席
- 8日・第35回離島市町村議会議長全国大会に議長出席
- 9日・第60回町村議会議長全国大会に議長出席
- 10日・南部地区市町村議会議長会行政視察に議長出席
- 12日・久米島高校創立70周年記念式典に議長ほか出席
- 14日●第9回臨時会
- 15日・久米島町議会行政視察（徳島県）に全議員出席



久米島町議会議員の視察
徳島県（上勝町・神山町）

- 19日・特別養護老人ホーム敬老会に議長出席
- 25日・離島フェア2016に議長出席

■平成28年12月

- 1日・糸満市市制施行45周年記念式典に議長出席
- 2日・平成28年度管内離島視察研修会並びに臨時総会に議長出席
- 4日・第15回久米島町産業まつりに議長ほか議員出席
- 7日・JA久米島支店組合員交流のつどいに議長ほか出席
- 8日●議会運営委員会
- 9日・久米島和牛改良忘年会に副議長ほか出席
 - ・久米島の観光・物産と芸能フェアに議長出席
- 11日・清水小学校創立70周年記念式典並びに祝賀会に議長ほか議員出席

- 12日・「譜久里武」世界マスターズ陸上準優勝激励会に議長ほか議員出席
- 13日・町議会議員研修会「議会改革の推進と議会活性化の取り組み」に全議員出席
- 15日●12月定例会
- 16日●12月定例会
 - 広報委員会
- 19日・宮城県議会議員行政視察に議長出席
- 21日・県議会要請行動
- 22日●第11回臨時会

■平成29年1月

- 4日・野菜、花卉合同初荷役に副議長ほか出席
 - ・仲里庁舎新年の挨拶に副議長出席
- 5日・町新年会に副議長ほか出席
- 6日・消防出初め式に副議長ほか出席
- 8日・町成人式に議長ほか出席
- 11日・内閣府沖縄振興第二参事官情報交換会に副議長出席
- 12日・南部地区市町村議会議長会定例総会に議長出席
 - ・南部地区関係団体合同新年交流会に議長ほか副議長出席
- 13日・南部離島町村長議長連絡協議会役員会及び定例会に議長出席
- 14日・青森県中泊町「庁舎落成式」に議長出席



青森県中泊町「庁舎落成式」

- 17日・セリ購買者との懇親会に議長ほか出席
- 18日・富山県滑川市議会議員行政視察に議長出席
 - ・久米島家畜セリ市場初セリに議長ほか出席
- 21日・久米島製糖操業開始式に議長ほか出席
- 28日・町新春書道展オープニングセレモニー、表彰式に議長ほか出席
- 30日・東北楽天イーグルス歓迎セレモニーに議長ほか出席